

PPP (CHAP または PAP) 認証に関するトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[用語](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[トラブルシューティング フローチャート](#)

[ルータで、CHAP 認証または PAP 認証を実行していますか。](#)

[ルータで、単方向または双方向の CHAP 認証を実行していますか](#)

[着信に関する障害ですか](#)

[発信チャレンジまたは応答のユーザ名はホスト名と同じですか。](#)

[リモート マシンはアクセス可能な Cisco ルータですか。](#)

[発信 CHAP の障害のトラブルシューティング](#)

[ルータが AAA を使用しない、またはローカル AAA しか使用しない場合](#)

[一般的なサーバベースの AAA に関する問題のトラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

Point-to-Point Protocol (PPP) 認証の問題は、ダイヤルアップ リンク障害の最も一般的な原因の 1 つです。このドキュメントでは、PPP 認証に関する問題のトラブルシューティング手順を紹介しています。

前提条件

- debug ppp negotiation および debug ppp authentication をイネーブルにします。
- PPP 認証フェーズは、Link Control Protocol (LCP; リンク制御プロトコル) フェーズが完了してオープン状態になるまで開始されません。debug ppp negotiation が LCP がオープンであることを示さない場合、先に進む前にこの問題を解決する必要があります。
- PPP 認証は、両側で設定されている必要があります。必要に応じて、次のコマンドを発行します。[双方向のチャレンジ ハンドシェイク認証プロトコル \(CHAP \) 認証を設定する場合は、両方のルータで ppp authentication chap](#) を発行します。[単方向認証の場合は、発呼側ルータで ppp authentication chap callin](#) コマンドを発行します。[PAP 認証の場合は、両方のルータで ppp authentication pap](#) を発行します。

用語

- ローカル マシン (またはローカル ルータ) : これは、現在デバッグ セッションが実行されているシステムです。あるルータから他のルータにデバッグ セッションを移動した場合、「ローカル マシン」という用語は、新たに対象となったルータに対して適用されます。
- ピア : ポイント ツー ポイント リンクの他方の端を意味します。したがって、このデバイスはローカル マシンではありません。たとえば、RouterA で [debug ppp negotiation コマンドを発行する場合、これがローカル マシンとなり、RouterB がピアになります。](#) ただし、デバッグの対象を RouterB に変更した場合は、RouterB がローカル マシンになり、RouterA がピアになります。

注 : ローカルマシンとピアという用語は、クライアントとサーバの関係を意味するものではありません。デバッグ セッションがどこで実行されているかによって、ダイヤルイン クライアントはローカル マシンまたはピアになります。

要件

次の項目に関する専門知識があることが推奨されます。

- debug ppp negotiation の出力を読み取って理解できる必要があります。詳細は、『[debug ppp negotiation 出力について](#)』を参照してください。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

トラブルシューティング フローチャート

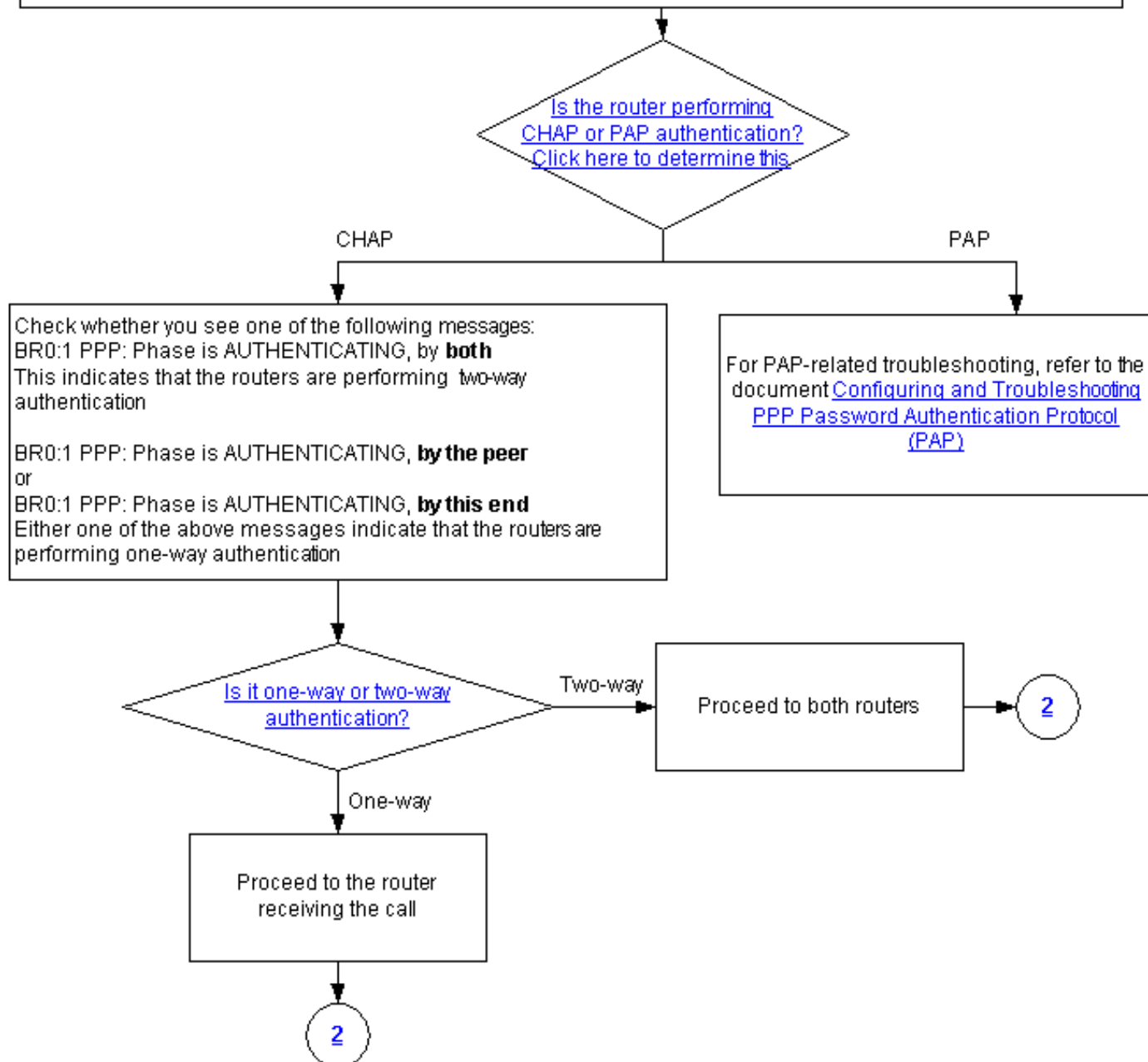
この文書には、トラブルシューティングに役立つように、いくつかのフローチャートを掲載しています。次のフローチャートに進むには、丸印の中の番号をクリックしてください。

Note: Please do not skip any steps in this flowchart

Authentication can be done by both, either or neither side of the connection. Cisco highly recommends using authentication as a way of securing the network against intrusion. Authentication failures are one of the most common problems encountered in PPP negotiation.

Note: This document assumes that the LCP state is open. If the LCP state is not open, troubleshoot that issue before proceeding with this document

Enable the following debugs **debug ppp negotiation** and **debug ppp authentication**.



ルータで、CHAP 認証または PAP 認証を実行していますか。

ルータで CHAP 認証または PAP 認証が実行されているかどうかを判別するには、**debug ppp negotiation** および **debug ppp authentication** の出力の次の行を調べます。

CHAP

AUTHENTICATING フェーズで CHAP を探します。

```
*Mar 7 21:16:29.468: BR0:1 PPP: Phase is AUTHENTICATING, by this end
*Mar 7 21:16:29.468: BR0:1 CHAP: O CHALLENGE id 5 len 33 from "maui-soho-03"
```

PAP

AUTHENTICATING フェーズで PAP を探します。

```
*Mar 7 21:24:11.980: BR0:1 PPP: Phase is AUTHENTICATING, by both
*Mar 7 21:24:12.084: BR0:1 PAP: I AUTH-REQ id 1 len 23 from "maui-soho-01"
```

ルータで、単方向または双方向の CHAP 認証を実行していますか

debug ppp negotiation の出力で次のメッセージのいずれかを探します。

```
BR0:1 PPP: Phase is AUTHENTICATING, by both
```

上記のメッセージは、ルータが双方向の認証を実行していることを示しています。

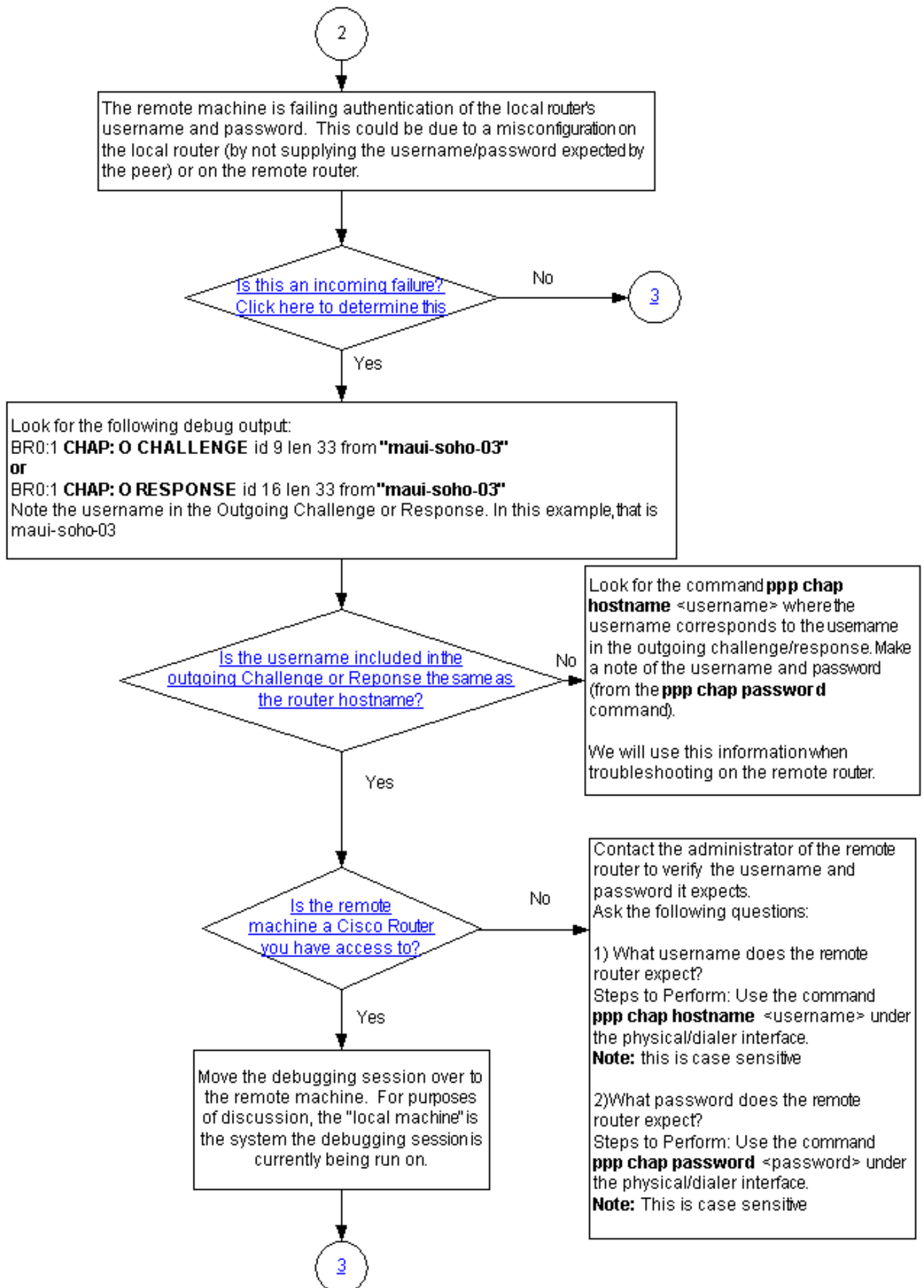
次のメッセージは、いずれもルータが単方向の認証を実行していることを示しています。

```
BR0:1 PPP: Phase is AUTHENTICATING, by the peer
```

または

```
BR0:1 PPP: Phase is AUTHENTICATING, by this end
```

着信に関する障害ですか



着信メッセージ termreq または failure が受信されていないかどうかを調べます。「1」はこのメッ

メッセージが着信 (incoming) メッセージであることを示しています。

```
BR0:1 LCP: I TERMREQ
```

または

```
BR0:1 CHAP: I FAILURE
```

着信に関する障害は、ピア側でローカル ルータのユーザ名とパスワードの認証ができなかったことを意味しています。これには、ローカル ルータまたはリモート ルータ側での設定ミス (ピア側が期待していたユーザ名とパスワードが指定されなかった) が考えられます。

発信チャレンジまたは応答のユーザ名はホスト名と同じですか。

debug ppp negotiation の出力で次のメッセージのいずれかを探します。

```
BR0:1 CHAP: O CHALLENGE id 9 len 33 from "maui-soho-03"
```

または

```
BR0:1 CHAP: O RESPONSE id 16 len 33 from "maui-soho-03"
```

発信チャレンジまたは応答の中のユーザ名に注意してください。この例では、これはmaui-soho-03です。認証に使用するユーザ名とパスワードが、リモート側で想定されるユーザ名とパスワードと一致していることを確認するには、これを行う必要があります。たとえば、ローカル ルータが自身をピアに対して A であると示しているものの、ピア側では B を期待していた場合、認証は正しく行われません。

発信チャレンジのユーザ名がホストネームと同じでない場合は、[ppp chap hostname <username>](#) コマンドを調べます。[ここで使用するユーザ名は発信チャレンジのユーザ名です。](#) このユーザ名とパスワード (ppp chap password コマンドで指定されているもの) をメモしてください。この情報は、リモート ルータのトラブルシューティングの際に使用します。

リモート マシンはアクセス可能な Cisco ルータですか。

ローカル ルータで着信障害が受信されていると判断できたことから、障害はピア側で起きていることが分かります。リモートの Cisco ルータにアクセスできる場合は、そのデバイスでトラブルシューティングを行います。

リモート ルータにアクセスできない場合は、そのルータの管理者に連絡して、ルータが期待しているユーザ名とパスワードを確認してください。

次の質問に答えてください。

1. リモート ルータが期待しているユーザ名は何か。物理インターフェイスまたはダイヤライン インターフェイスで [ppp chap hostname <username>](#) コマンドを実行します。ここでは、リモート ルータの管理者から指定されたユーザ名を設定します。注：大文字と小文字は区別されます。
2. リモート ルータが期待しているパスワードは何か。物理インターフェイスまたはダイヤラ

インターフェイスで [ppp chap password <password>](#) コマンドを実行します。注：大文字と小文字は区別されます。

詳細は、ドキュメント『[ppp chap hostname および ppp authentication chap callin コマンドを使用した PPP 認証](#)』を参照してください。

[発信 CHAP の障害のトラブルシューティング](#)

If the peer detects an incoming failure message, this means the local router has failed to authenticate the peer and has sent out the message. Hence we must now move troubleshooting to the router on which the Outgoing Failure is seen.

The following messages on the local router indicates an outgoing failure:
 BR0:1 CHAP: O FAILURE id 10 len 26 msg is "Authentication failure"
 or
 BR0:1 LCP: O TERMREQ [Open] id 22 len 4

Does the local router use Server-based AAA
(Radius/TACACS+)?

yes

4

No, it uses either No AAA or
local AAA

Choose from one the following error messages

BR0:1 CHAP: I RESPONSE id 18 len 33 from "<username>"
 BR0:1 CHAP: Unable to validate Response. Username <username>
 not found
 BR0:1 CHAP: O FAILURE id 18 len 26 msg is "Authentication failure"
 BR0:1 PPP: Phase is TERMINATING [0 sess, 0 load]

Configure the username and shared secret for
the chap challenge
Use the command
username <username> password <password>
Note: The username should be identical to the
username in the incoming CHAP message, while
the password should be the common secret

BR0:1 CHAP: Username <username> not found
 BR0:1 CHAP: Unable to authenticate for peer
 BR0:1 PPP: Phase is TERMINATING
 BR0:1 LCP: O TERMREQ [Open] id 22 len 4

Configure the username and shared secret for
the chap challenge
Use the command
username <username> password <password>
Note: The username should be identical to the
username in the incoming CHAP message, while
the password should be the common secret

BR0:1 CHAP: I RESPONSE id 16 len 33 from "<username>"
 BR0:1 CHAP: O FAILURE id 16 len 25 msg is "MD/DES compare
failed"

Remove the existing username/password entry
using the command:
no username <username>
 where <username> matches the one in the
CHAP message

Configure the username and password using the
command:
username <username> password <password>
 The username should be the same as in the
CHAP message shown above. The password
should match the password on the remote
router.

ピア側で着信障害のメッセージが検出された場合は、ローカル ルータがピアの認証に失敗し、このメッセージを送信したことを意味しています。したがって、発信障害を起こしているルータを

トラブルシューティングする必要があります。

ローカル ルータ上の次のメッセージは、発信障害を示しています。

```
BR0:1 CHAP: O FAILURE id 10 len 26 msg is "Authentication failure"
```

または

```
BR0:1 LCP: O TERMREQ [Open] id 22 len 4
```

ルータが AAA を使用しない、またはローカル AAA しか使用しない場合

ルータ側でサーバベースの認証、許可、およびアカウントिंग (AAA) システム (Radius または Tacacs+) が使用されていない場合には、ルータで AAA がまったく使用されていない場合と、ローカル AAA が使用されている場合とがあります。デバッグ出力に次のメッセージのいずれかが表示されているかどうか、確認してください。

Unable to Validate Response

Username <username> Not Found

```
BR0:1 CHAP: I RESPONSE id 18 len 33 from "maui-soho-03"
! -- Incoming CHAP response to our challenge. ! -- The username used in the response is maui-soho-03. BR0:1 CHAP: Unable to validate Response. Username maui-soho-03 not found
! -- The username supplied by the peer is not configured on the router. ! -- We assume the peer does not have permission to connect. BR0:1 CHAP: O FAILURE id 18 len 26 msg is "Authentication failure"
! -- Outgoing CHAP failure message. ! -- The peer will see this as an incoming failure. BR0:1
PPP: Phase is TERMINATING [0 sess, 0 load]
```

ユーザ名の不一致は、次の 2 つの理由で発生します。

1. ローカル ルータ側で期待しているユーザ名がピア側から渡されない。たとえば、RouterA というユーザ名を期待 (および設定) しているのに、ピア側では RouterB をいう名前を使用している場合です。ピア側から送られるユーザ名とパスワードを設定するか、ピア側の名前を正しいものに訂正します。
2. ローカル ルータにユーザ名が設定されていない。ピアから渡されるユーザ名がローカル ルータ側で期待していたものと一致する場合は、そのユーザ名とパスワードを設定します。

この問題は、ピア側で [ppp chap hostname コマンドを使用して、ルータのホスト名以外のユーザ名を設定しているときに最も頻繁に発生します。](#)

コマンド `username <username> password <password>` を使用します。<username> は、上記のエラー メッセージ内にあるユーザ名で置き換えます。

Username <username> Not Found

Unable to Authenticate for Peer

```
BR0:1 CHAP: I CHALLENGE id 17 len 33 from "maui-soho-01"
! -- Incoming challenge from maui-soho-01. ! -- This router must look up the username specified
! -- in order to create the CHAP response. BR0:1 CHAP: Username maui-soho-01 not found
! -- The username (maui-soho-01) supplied by the peer is not configured locally. BR0:1 CHAP:
```

Unable to authenticate for peer

```
! -- Since this router does not recognize the username ! -- it cannot create the outgoing CHAP RESPONSE. BR0:1 PPP: Phase is TERMINATING ! -- Authentication fails.
```

ユーザ名の不一致は、次の2つの理由で発生します。

1. ローカル ルータ側で期待しているユーザ名がピア側から渡されない。たとえば、RouterA (および設定) という名前を使用している場合です。ただし、ピア側では RouterB という名前を使用します。ピア側から送られるユーザ名とパスワードを設定するか、ピア側のユーザ名を正しいものにアップデートします。
2. ローカル ルータにユーザ名が設定されていない。ピアから渡されるユーザ名がローカル ルータ側で期待していたものと一致する場合は、そのユーザ名とパスワードを設定します。

この問題は、ピア側で [ppp chap hostname コマンドを使用して、ルータのホスト名以外のユーザ名を設定しているときに最も頻繁に発生します。](#)

コマンド `username <username> password <password>` を使用します。<username> は、上記のエラー メッセージ内にあるユーザ名で置き換えます。

MD/DES Compare Failed

```
BR0:1 CHAP: I RESPONSE id 16 len 33 from "maui-soho-03"  
BR0:1 CHAP: O FAILURE id 16 len 25 msg is "MD/DES compare failed"
```

このエラーは、パスワードの不一致によって発生します。これには、次の2つの理由が考えられます。

1. ローカル ルータ側で期待しているパスワードがピア側から渡されていない。たとえば、*Letmein* というパスワードを期待 (および設定) しているのに、ピア側では *letmein* をいうパスワードを使用している場合です。ピア側から送られるユーザ名とパスワードで再設定するか、ピア側のユーザ名を正しいものに訂正します。
2. ローカル ルータにパスワードが正しく設定されていない。ピア側から送られるパスワードの方が正しいと確認できた場合は、ローカル ルータ側を再設定します。

ソリューション :

1. 次のコマンドを使用して、既存のユーザ名とパスワードのエントリを削除します。

```
no username <username>
```

ここで、<username> をエラー メッセージで示されているユーザ名に置き換えます。この例では、`maui-soho-03` になります。

2. 次のコマンドを使用して、ユーザ名とパスワードを設定します。

```
username password
```

このユーザ名は、上記の CHAP メッセージの中にあるものと同じである必要があります。また、パスワードはリモート ルータ側のパスワードと同じものである必要があります。

[一般的なサーバベースの AAA に関する問題のトラブルシューティング](#)

This section has some simple AAA troubleshooting points.
It can be used to troubleshoot both CHAP and PAP authentication

Enable the following debugs:
debug aaa authentication
and
debug radius
or
debug tacacs

Note: For Radius (prior to 12.2XB) , the debug output will need to be decoded. Use the [Output Interpreter tool](#).
In the radius/tacacs debug output, check to see if you are receiving an Access-Accept from the server. For example:
*Mar 1 05:07:40.310: RADIUS: Received from id 4 172.22.53.201:1645, Access-Accept, len 50

Do you see an Access-Accept?

Yes

No

Check to see if you get a Sendauth failure, which happens only for Radius with two-way authentication. The following debug shows an example:

```
AAA/AUTHEN/START (776188141): port='BR0:1' list='
action=SENDAUTH service=PPP
AAA/AUTHEN/START (776188141): using "default" list
AAA/AUTHEN/START (776188141): Method=radius
(radius)
AAA/AUTHEN/SENDAUTH (776188141): missing
password for maui-soho-03
AAA/AUTHEN/SENDAUTH (776188141): Failed
sendauthen for maui-soho-03
AAA/AUTHEN (776188141): status = FAIL
AAA/AUTHEN/START (776188141): no methods left to try
AAA/AUTHEN (776188141): status = ERROR
AAA/AUTHEN/START (776188141): failed to authenticate
BR0:1 CHAP: Username maui-soho-03: lookup failure
```

Configure one-way authentication by configuring the command **ppp authentication chap callin** on the dialout side

Please perform the following general troubleshooting steps:

- 1) Check if you have connectivity with the AAA server (try to ping the AAA server from the local router)
- 2) Check if the AAA server is correctly specified using the radius-server host or tacacs-server host command
- 3) Check if the secret key used between the local router and the AAA server is correct (use the command radius-server key and tacacs-server key)
- 4) Check if the local router is correctly identified in the AAA server configuration
- 5) Check if the username and password that is used for authentication is correctly configured on the AAA server

For more information refer to the Radius/Security Technical Tips Page

If you see an Access-Accept and CHAP authentication still fails, then contact the Cisco TAC for further troubleshooting

注：このドキュメントは、AAAのトラブルシューティングリソースとして使用するものではありません。AAAのトラブルシューティングに関する詳細は、次のドキュメントを参照してください。

- [AAA の処理](#)
- [RADIUS](#)
- [TACACS](#)

問題 : PAP 認証は PPP では動作するが、MsCHAPv2 では失敗する

ACS サーバが認証要求を受信しなかったため、セッションが失敗して ACS サーバを認証できない場合があります。この動作は、Cisco Bug ID [CSCee04466 \(登録ユーザのみ\)](#) に記述されています。回避策として、PPP セッション用に RADIUS サーバを使用します。ただし、ルータの TACACS+ サーバを管理上の目的でのみ使用してください。

関連情報

- [debug ppp negotiation の出力について](#)
- [PPP CHAP 認証の理解および設定](#)
- [ppp chap hostname および ppp authentication chap callin コマンドを使用した PPP 認証](#)
- [PPP パスワード認証プロトコル \(PAP\) の設定とトラブルシューティング](#)
- [ダイヤルおよびアクセスに関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)